

町長コラム

子どもへのコーチング ～成長を促す声掛け～



鈴木 勝

スポーツのコーチというと、より高度な技術が得られるように導く人と思うであろう。私がサッカーの指導者講習会に参加した時、二人一組で1分間に何回パス回しができるかの実技を行った。次に1回目よりもプラス5回パス回しをする。その時、コーチから数字を示されるのと子どもたちが話し合い目標を設定するのでは、成長に違いが出ると教わった。すなわち、「やらされ感」と「自主性」との違いであり、今よく耳にするコーチングとは、自分の目指す方向に、自分で進む力を導き出す、会話術のようなものである。子育てにおいて、我々大人は、子どもたちの未来を心配し、予測して指導しようとする。しかし、その指導方法では「やらされ感」と「コーチの言う通りにやって失敗した」などの責任転嫁が生じる。

私が保育士をしていた頃、外で遊んでいる子に入室を促す場合、「右と左のどちらのドアから入る？」と選択肢を与えるとスムーズに行く場合があった。子どもも大人も、常に自分の選択肢の中で成長するものである。

人権

それは愛

「言われたくないこと」

私は生まれたときから肌が黒くて、保育園の時、友達から黒と言われました。先生に言うと黒と言った子に言ってくれました。それからは、誰からも黒とは言われなくなりました。

学校に入学して一年二年は何も言われなかったけど、三年生でクラス替えをしてみんなと話が出るようになってから、男の子にガングロと言われるようになって、二年生のとき一緒のクラスだった子まで、「外人ガングロ。」と言うようになりました。

同じクラスの男の子でAさんという背が小さくて、ちびと言われている子がいました。私も一緒になってAさんが友達としゃべっているときに何回も言ってし

松伏町消費生活センター 情報

災害後、屋根工事などの悪質な勧誘に 気を付けて！

町内で、ひょう・暴風雨等による多大な被害がありました。災害後、事業者が訪問し「火災保険を使い実費負担無しで屋根修理をする」「屋根の無料点検」と勧誘され契約したのち、多額の修理代やキャンセル料を請求されたトラブルが、全国で報告されています。すでに町内で勧誘された事例もありますので、決してその場で契約せず、複数の業者に見積りを取り、検討してください。契約内容に不安がある時は、消費生活センターにご相談ください。

事例

災害で屋根修理が必要になった。突然来訪した事業者に「火災保険で実費負担なく修理ができる。保険申請は無料で代行する」と言われお願いした。しかし、いつの間にか保険金以外の高額な工事や、ずさんな工事をされ納得できない。

消費者への注意喚起

- ・慌てず、複数の業者から見積りをもらい検討しましょう。
- ・来訪した事業者と、その場で契約をしないようにしましょう。
- ・保険適用範囲や申請方法は、自身で保険会社に確認しましょう。
- ・災害に便乗して、不必要な住宅修理をされた報告もあります。
- ・家族や周りの人は、不審な訪問者が来ていないか気を配りましょう。
- ・契約内容や見積りに不安がある時は消費生活センターにご相談ください。

ひとりで悩まず すぐ相談！

消費者ホットライン

188 局番なし

又は

松伏町消費生活センター

☎984-7208

問合せ

教育文化振興課 ☎991-1873

企画財政課 ☎991-1815

まいました。でも私が、ガングロと言われたときの事を思い出して、Aさんがちびと言われたときの事の気持ち分かるような気がしました。

私はふざけて言ったんだけど、きっとAさんは嫌な思いをしていたのではないかと思います。

私の事をガングロと言った人も面白半分に行っているのだと思いますが、やっぱり言われたら嫌な気がします。

だからもうAさんの事をふざけてでもちびと言わないようにしようと思います。

人権作文集～こころ～ より